



旅の図書館では、観光に関わる皆様の交流を深めていただくことをねらいとして、「たびとしょ Cafe」を開催しています。



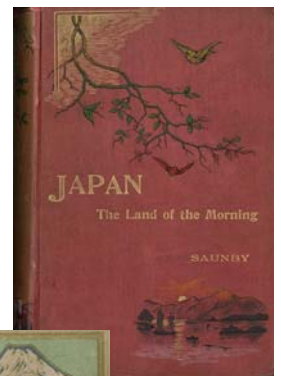
第8回

近代日本における旅行案内書の歩み

ゲストスピーカー：荒山 正彦 氏
(関西学院大学 文学部 教授)

日本では、近世においてすでにさまざまな旅行案内書が出版されていました。明治期の近代を迎え、旅行スタイルの変化(徒歩から鉄道へ)や印刷技術の変化(木板から銅版、石版、活版へ)などにより、旅行案内書そのものにもさまざまな様相がみられます。

実際の旅行案内書を画像でご覧いただきながら、近世までの旅行案内書がどのように継承され、日本独自の旅行案内書のスタイルがどのように作りだされてきたのか、その変遷をたどります。さらには、その過程でジャパン・ツーリスト・ビューロー(明治45年創立)が編集や発行に関わった旅行案内書の位置づけについてもお話いただきます。当館所蔵の古書もあわせてご紹介しながら、いま改めて古書を読み解く意義についても考えてみたいと思います。



◆ゲストスピーカープロフィール◆

専門は人文地理学、近代におけるツーリズム文化史。大阪大学文学部日本学研究室助手を経て、現在は関西学院大学文学部地理学地域文化学教授。近代期の旅行案内書55点を復刻出版した企画『シリーズ明治・大正の旅行 旅行案内書集成 全26巻』ゆまに書房(2013~2015年)の監修と解説なども行う。

日時 2017年3月2日(木) 17:30 ~ 19:30
場所 (公財)日本交通公社 ライブラリーホール
〒107-0062 東京都港区南青山2-7-29
日本交通公社ビル

対象 観光研究者、学生、観光実務者
(観光行政に関わる方、地域の観光関係者)など

定員 20名程度(先着順)

参加費 500円(お1人様/軽食・飲み物付き)
※当日、受付でお支払いください。

申込方法 お申し込みは当財団ホームページの申し込みフォームよりお願いいたします。
<https://www.jtb.or.jp/library/event>



※(公財)日本交通公社・旅の図書館は8/22に移転しました。
ご来訪の際は、ご注意ください。